



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



そば畑（仲多度郡まんのう町）

目 次

1. 第 33 回全国土地改良大会長崎大会開催 2~3
2. 平成 22 年度土地改良施設総合対策支援事業研修会開催 4~5
3. レンコン収穫祭 in 引妻池 / 第 3 回コスモス祭り 6
4. 第 4 回コスモス交流会 7
5. 団体営ため池等整備事業牟ヶ谷池地区ため池改修工事起工式挙行 7
6. 香川用水の重要性について出前授業 8
7. 会と催し 8

第 33 回全国土地改良大会長崎大会開催



挨拶をする水土里ネット長崎の宮本正則会長

第 33 回全国土地改良大会長崎大会が 10 月 26 日、全国水土里ネット、水土里ネット長崎主催、農林水産省、長崎県、島原市、雲仙市、南島原市後援のもと「伝えよう 水の音色 土の温もり 里の安らぎ 西端の風にのせて。」をテーマに島原市の島原復興アリーナで開催され、式典には全国から約 3,500 人の土地改良関係者が参加した。

この大会は農業農村整備にかかわる全国の関係者が一堂に集い、より一層連携を深めることを目的としており、また、農業・農村の重要性とそれを支える農業農村整備事業の役割を広く国民にアピールし、21 世紀を迎えた農業農村整備事業の展開について認識と決意を新たに『美しく豊かなむらづくり』を目指し全国で毎年開催され、今回で 33 回目を迎える。

大会式典は、主催県の水土里ネット長崎 宮本正則会長が「農業農村地域はこれまでに先人たちの弛まぬ努力によって『水』『土』『里』が築きあげられ、そして、土地改良事業によって食料供給の基盤となる整備が肌理細やかに進み、活力と潤いのある農村地域が形成された。しかしながら、近年の農業農村を取り巻く環境は担い手の減少や高齢化、耕作放棄地の増大、農産物価格の低迷など極めて厳しい状況が続いている。私たち土地改良に携わる者として、農業農村を国民全体の共有財産として、次世代に引き継いでいくことを本日参集の皆様とともに声を大にして訴えていこうではありませんか。」と挨拶。

続いて、全国水土里ネット野中広務会長が「土地改良を巡る最近の状況は諸般の事情から平成 22 年度において農業農村整備事業の予算が激減し、農家の方からは農地の改良や水利施設の更新を円滑に進めることが出来ないなど、将来に対する不安の声があがっている。国の大本である農業や農地、里地が荒れ果てているようなことは、長年苦難の道を切り開いてきた先人たちに申し訳なく決して許されることではない。このときこそ我々水土里ネットが農林水産省を始めとする関係機関の皆さんと連携し、制度やその他の組織の問題を超越して、島原の人々のような情熱を持って地域農業の発展と地域の活性化のために『水』『土』『里』の織りなう中間的な存在として、しっかりと活動していく必要がある。」と述べた。

続いて、土地改良事業功績者表彰に移り、農林水産大臣表彰 6 名、農林水産省農村振興局長表彰 13 名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰 48 名にそれぞれ表彰状と記念品が授与された。本県からは、全土連会長表彰に香川県三郎池土地改良区前理事長の大熊忠臣氏が受賞の榮譽に浴された。

基調報告は、農林水産省農村振興局の齋藤晴美次長から「土地改良の歴史を振り返り、これからなすべき水利施設の保全管理及び食料自給率の向上に資する基盤整備について」の報告があった。



全土連会長表彰の
大熊 忠 臣 氏



大会宣言する早崎さんと前田さん

また、大会宣言では長崎県立農業大学校の前田拓也さんと早崎美紀さんが、本日ここに集う水土里ネットの人々は、我が国の「環境」と「資源」を将来にわたって保全、管理、維持していくため、将来を担う若者も積極的に参加し、国民一体となって「水」「土」「里」を守り、育み、伝えていくことを、日本近代文化のさきがけとなった、ここ長崎の地から全国に向けて高らかに宣言した。

続いて、次期開催地の宮城県が「伊達の郷から未来へたたえしは水の知恵 つなぐは土の力 まもるは里の絆。」をテーマに紹介され、大会旗が水土里ネット長崎の宮本会長から、全国水土里ネットの野中会長、そして、水土里ネット宮城の佐々木会長へと手渡され、一段と盛大な拍手が沸き起こった。

その後、北海土地改良区眞野弘理事長（水土里ネット北海道会長）が「食と地域の再生に向けた農業農村整備事業の推進に必要な平成 22 年度における補正予算の早期の手当。



大会旗の引き渡し



大会アトラクションの龍踊り

平成 23 年度予算の農業農村整備事業関係の特別枠要望を満額確保と全体規模の大幅増。農業水利施設の適切な保全管理と計画的な更新整備や水田の汎用化に向けた排水対策などの農地の整備を国策として推進。」を求める緊急動議を提出、満場で一致採択された。

最後に全国水土里ネット吹田愧副会長より参集者へのお礼が述べられ、第 33 回全国土地改良大会は盛会裏に幕を閉じた。

平成22年度土地改良施設総合対策支援事業研修会開催

～簡易補修等の技術力向上対策～



去る 10 月 22 日、土地改良施設総合対策支援事業の一環として、簡易補修等の技術力向上対策研修会が香川県において全国水土里ネット主催で開催された。

農業水利施設は、農業用水路だけでも全国で約 40 万 km に及び、膨大なストックを形成している。これら施設の大部分の管理については全国の土地改良区等に委託されているが、その機能を適切に維持・保全し、次世代へ継承していくことが食料の安定供給のための重要な課題となっている。

しかしながら、これらの施設も施工後半世紀近くを経たものが大部分であり、ひび割れ、目地損傷等老朽化が随所に進んでおり、放置すれば多大な費用を要する全面改修も懸念されている。そこで今回、「簡易な補修・補強等」を土地改良区等が適切に行うことにより施設の機能回復を図り、維持管理費の節減や施設の長寿命化を図るべく技術修得を目的に研修会が開催された。

午前の部の室内研修においては、冒頭、水土里ネット香川の山地常務理事から参加者への常日頃の事業協力へのお礼並びに国会への事業陳情等の近況報告があり、続いて全国水土里ネットの鈴木次長、飛島建設(株)の笠井課長から、事業の役割、コンクリート構造物の診断と補修について、パワーポイントを活用して詳細にかつ懇切丁寧な講義がなされた。

午後の部の現地研修(さぬき市長尾)は、野間田東営農組合の山瀬代表から地区の概要説明があり、その後講師から、個々の資材、器材の説明がなされ、ひび割れ補修、目地補修等の見本を示された後、研修員が個々に実践指導を受け盛会裏に研修会を閉会した。

平成 22 年度 土地改良施設総合対策支援事業研修会

～簡易補修等の技術力向上対策～ カリキュラム

時 間	科 目	講 師
9:30～9:40	開講式	水土里ネット香川
9:40～10:10	土地改良施設総合対策支援事業の役割 ～農家・地域住民参加型直営施工及び農地・水・環境保全向上対策との関わり～	全国水土里ネット 技術開発部 次長 鈴木 孝
10:10～12:10	農業水利施設のコンクリート構造物診断と補修～簡易補修等による機能回復手法～	飛島建設(株)土木事業本部技術部設計グループ コンクリート構造チーム 課長 笠井 和弘
12:10～12:30	相談会	
14:10～14:20	現地研修 地区の概要説明	さぬき市野間田東営農組合 代表 山瀬 邦生
14:20～16:20	現地研修 実習	飛島建設(株)土木事業本部技術部設計グループ コンクリート構造チーム 課長 笠井 和弘



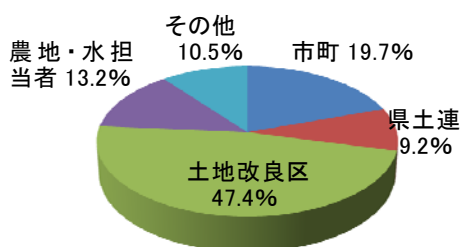
▲ 目地補修



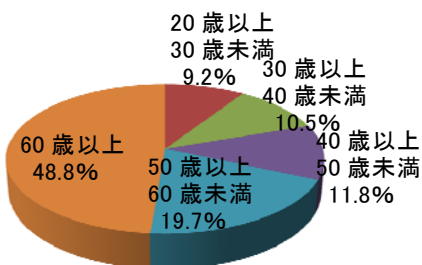
▶ ひび割れ補修



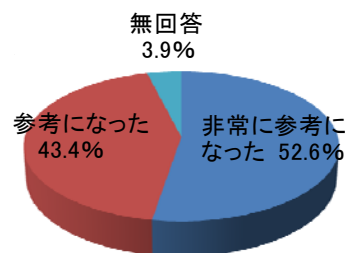
参加者の所属



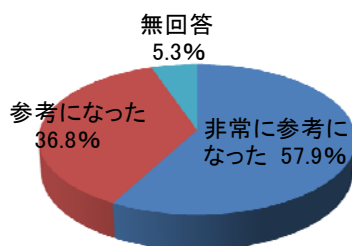
参加者の年齢



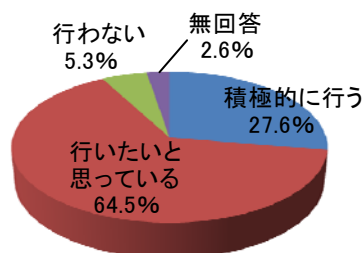
室内研修について



現地研修について



今後、自ら簡易補修を行いますか



参加者 76 名にアンケートを実施したところ、土地改良区及び農地・水・環境保全関係者が全体の 6 割、市町担当者が 2 割の順となりバランス的にまずまずといったところであった。参加者年齢は、60 歳以上が 5 割とやや高齢者が多く参加された。

室内研修、室外研修とも全員の参加者が「参考になった」以上の評価をしており、現地研修は 6 割強が「非常に参考になった」と評価している。また、意見として今後も継続して実施を望む声や、今後自ら補修を行いたいと前向きな姿勢の参加者が大多数であったことは、誠に心強い限りである。

これらの実践活動を通じて、施設の長寿命化はもとより、地域のコミュニティが増幅され、ひいては「地域営農集団化活動等への話題も広がり地域の活性化への取組み」の波及効果をも期待する。

農地・水・環境保全向上対策

レンコン収穫祭 in 引妻池

まえだ環境保全組合

農地・水・環境保全向上対策に取り組んでいる「まえだ環境保全組合」(代表 伏見 正範)は、10月23日、高松市前田西町の引妻池で第3回目となるレンコン収穫祭を開催した。

引妻池にはハスが自生しており、夏には立派なハスの花が咲き観賞に訪れる人も多く、このレンコン収穫祭は地域住民との交流を図るとともに地域の環境保全についてPRすることを目的に行われている。



今年は、中国四国農政局四国土改良調査管理事務所の協力により、水生生物の展示やペーパークラフトのコーナーも設けられ、参加した子どもたちは熱心にハサミを動かしてトンボや蝶を作り楽しんでいた。

地区の概要	
対象面積	水田 16.4ha 畑 1.1ha
対象施設	開水路 7.8km ため池 8箇所 農道 5.0km
活動内容	地域住民との交流

引妻池の概要	
受益面積	5.3ha
堤 高	3.4m
堤 長	103m
貯水量	32,800m ³

第 3 回 コスモス祭り

野間田東環境保全組合



去る10月31日、さぬき市の野間田東環境保全組合主催による第3回コスモス祭りが開催された。この日は、台風通過直後で雨を心配しながらの開催となったが、大勢の参加者で賑わった。3回目の開催となった今回は、野間田東自治会、子供会等地域の協力により大正琴や踊り、紙芝居など趣向を凝らした催しがお祭りに華を添えていた。

また、会場では、子供達による地域の風景画の展示や、農地を利用し咲かせたコスモス等を、竹で作った花瓶に生けた

「生け花の品評会」では子供が楽しそうに様々な作品を完成させていた。お昼には、讃岐の郷土料理である「どじょう汁」と地元で収穫した「のまだ米」で作ったおにぎりが参加者に振る舞われた。

残念ながら雨に見舞われ途中での中止となったが、今後も農地・水・環境保全向上対策活動に取り組み、地域の環境保全向上を目指して来年もコスモス祭りを開催予定である。

地区の概要	
対象面積	水田 16.3ha 畑 1.4ha
対象施設	パイプライン 2.8km ため池 3箇所 開水路 8.3km 農道 4.3km
活動内容	地域住民との交流

第 4 回 コスモス交流会

丸岡生き生きクラブ



好天に恵まれた 11 月 3 日、三木町氷上の丸岡地区において第 4 回コスモス交流会が開催された。

農地・水・環境保全向上対策に取り組む「丸岡生き生きクラブ」は、地区内の農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などに危機感を抱き本事業に取り組んでいる。交流会では、農家・非農家のコミュニケーションを図り、地区内の活気を取り戻すために子どもたちの絵を展示するとともに綿菓子やパウンドケーキ、焼きいも、甘酒などが参加者に振る舞われた。

地区の概要	
対象面積	水田 22.6ha 畑 2.8ha
対象施設	開水路 9.8km ため池 3 箇所 農道 2.0km
活動内容	農用地を利用した景観に配慮した作付け

工事の安全を祈願

団体営ため池等整備事業牟ヶ谷池地区ため池改修工事起工式挙行

去る 10 月 30 日、高松市香川町安原下地内において、団体営ため池等整備事業牟ヶ谷池地区ため池改修工事の起工式が執り行われた。この日は、台風 14 号が四国の南海上を通過中というあいにくの天候で、起工式の開催が危ぶまれたが、心配された風雨も小雨程度で、無事に挙行することができた。

牟ヶ谷池は、高松空港南側の国道 377 号線沿いの峠付近に位置し、4.0ha の山地流域を受け持つ山池で、貯水量約 4,000 m³、周辺は木々に覆われ、水質は至って良好なため池である。



築造年月は不明であるが、老朽化が進み堤体のパイピングにより貯水量が確保できず、堤防、樋管も脆弱で、決壊時における下流域への被害予想が甚大であることから、今回団体営事業で改修することとなった。

式典は午前 10 時から堤防下に設けられた祭壇前で行なわれ、土地改良区、地元関係者、施工業者ら 15 名が参列し、地元天野神社の青井宮司のお払いで清められたあと、香川町南部土地改良区の山田理事長らにより鍬入れが行なわれ、最後に全員で玉串奉奠を行い工事の安全を祈願した。

21 世紀土地改良区創造運動

香川用水の重要性について出前授業

水土里ネット香川用水

— 高松市立大野小学校 4 年生 84 名 —

水土里ネット香川用水では、幹線水路の施設を点検整備のため通水を停止するこの時期に、県内の小学校 4 年生を対象とした出前授業とクリーンアップ大作戦を実施している。管理課の職員が交代で教壇に立ち、今年は 7 校で出前授業を実施した。

10 月 13 日、高松市立大野小学校 4 年生に香川用水の役割や重



要性について説明し、水の大切さを呼びかけている。

教室での授業の後は、学校近くの香川用水東部幹線用水路の大野開水路に移動し、水路内の枯れ葉やゴミなどを取り除く清掃作業を実施。県民の大切な生活用水として重要な役割を果たすとともに、日頃は絶対に入ることの出来ない香川用水施設に入り、児童らにとっては貴重な体験学習となった。



会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
10 月 14 日	三豊市担い手育成総合支援協議会幹事会	三 豊 市
18 日 ～22 日	平成 22 年度実践技術研修（ストックマネジメントコース（土木・施設機械））	岡 山 市
19 日	平成 22 年度中国四国土地改良事業団体連合会事務部会	島 根 県
21 日	平成 22 年度土地改良施設診断・管理指導等に関する事例集作成ブロック検討会	愛 媛 県
22 日	平成 22 年度土地改良施設総合対策支援事業研修会	高 松 市
〃	香川県農業会議常任議員会議	高 松 市
26 日	第 33 回全国土地改良大会長崎大会	長 崎 県
26 日 ～27 日	平成 22 年度中国四国ブロック土地改良換地関係訴訟検討会	高 知 県
11 月 2 日	がんばる農村とくしま大会 2010	徳 島 県
4 日	平成 22 年度第 3 回水土里情報活用促進事業中国四国ブロック会議	岡 山 市
5 日	平成 22 年度第 1 回香川県農業農村整備事業環境情報協議会	高 松 市
7 日	農地・水・環境保全向上対策シンポジウム in かがわ 2010	丸 亀 市
〃	疏水百選「香川用水」水土里の路ウォーキング	高 松 市
8 日	香川県農業振興対策推進会議	高 松 市